

地域をつなぐ

日常生活のちょっとしたこと
一方で自分のできる範囲でボ
それをうまく結び付けようとい
区内の厚別南地区と厚別西地区の福祉
双方のニーズを結びつける
ボランティアの育成、登録、



厚別南地区福祉のまち推進センター
センター長 伊藤 文明さん

——福まちでボランティア募集をしようと思ったきっかけは何ですか。

ある高齢者から「蝶番を直してほしい」という相談を福まちに持ちかけられました。日常生活で困り事を抱えている方が意外に多いのではないかなと思う一方で、地域にはちょっとしたことなら簡単に直せる人もいるのではないかと考えました。そうした人が集まって自分の身近な地域で、無理のない範囲で人の役に立てることができれば、もっと住みよい街になるかと思いました。

——どんな活動をしていますか。

まだスタートしたばかりなので、現在の登録者は16名ほどです。そのうち10名は男性です。男性の参加が多いのが厚別南地区の強みになるかもしれませんので、もっと増えしてほしいと思います。今後は、ボランティア同士の連携や活動に役立つ講座などに加えて、ボランティア活動を始めてみたい人向けの交流会などもやってみたいのです。

——今後どのようにボランティア活動を広げていきたいですか。

ボランティアはいろいろな人が参加・協力することで活

動の幅が広がり、内容が深まっていくと思います。ですから、どんな人でも気軽にボランティア活動に参加してもらえるような環境をつくっていきたいです。

興味がある方は、是非一度、福まちにご連絡いただきたいです。

——これからボランティアを始めようと思っている方に一言お願いします。

私自身も、初めは人からの勧めで町内会長になったことが、ボランティア活動の第一歩でした。健康のための散歩を日課にしていますが、ついでにゴミを拾いながら散歩しています。街がきれいな方が気持ちがいいからです。自分ではあまりボランティアをしているという意識はありませんが、「自分自身のためにやっていることも、結果として人や社会のお役に立っているのでは」と周りから言われます。

自分の趣味や習慣の延長上で、気軽に始めてみるのが大事ではないかと思います。

厚別南地区福祉のまち推進センター

住所：厚別区厚別南15-10 厚別南会館1階(毎週月～金曜日、10時～12時)
電話：(011) 890-0020

